

しおさいかわら版

令和二年所信

未来創り 再発見！ しおかぜが つなぐみなとまち



会長 長 郁 互
会 小 沼

2020年、小名浜まちづくり市民会議が発足して20年の節目の年です。また、東日本大震災から10年目になるこの年に大きな災害が私たちの生活を襲いました。終息が図りづらい災害です。災害は忘れたころにやってくるといいますが、昨年の台風の影響から今までで忘れる間もなく続いています。まちづくりを考えてる暇などないのかもしれないが、古より私たちの先輩方は多くの困難を乗り越え今を築いてくださいました。私たちもそれに倣い、厳しい中にも未来を見つめ、今できることをこつこつとやり続けるしかないと

思います。 昨年度、以前から検討を続けていました「おなほまちづくりグランドデザインⅢ」を、小名浜に居住する皆様のご意見をもとに創り上げました。このグランドデザインは、当会が発足した20年前に第一弾が、そして震災の年に第二弾が策定され、その内容をもとに、市民の皆様と、行政をはじめとする関係各位のご協力のもと小名浜のまちづくりが進められてきました。鹿島街道の直進をはじめとする各種道路の整備や港湾背後地にショッピングモールの開業等、描かれた内容が目に見える内容で少しずつ形になりましたが、これからの10年、20年を見据えて、更に小名浜をどうしていくべきか、自分たちの住みたいまちにどう変えていくべきか、その未来像を市民の皆様と共有する為に第三段が描かれたのです。今年度はその内容に沿い、グランドデザインをも

発行所
小名浜まちづくり
市民会議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
令和2年8月20日

とにアクシオンプログラムを作り上げ、当会の各委員会の事業もそれを基盤としながら進めていきたいと思っています。少子高齢化が進み、かつての公共施設も老朽化の中で、公共交通網の整備と利用で車の利用率が下げられるまち、またその交通拠点にもなり、あるいは便利なアクセスでサービスが受けられるような市民サービス機関の集約を目指しながら、先進地視察や関係各位との意見交換で具体的な方向付けと行動が起せるように活動の幅を広げていきたいと思えます。 設立20年を迎える年です。1年間、よろしくお願い致します。



令和元年総会の風景

委員長紹介



委員長 岩瀬 利哲
グランドデザイン
委員会



委員 安齊 和為
まちなか潮目
委員会



委員 岩田 雅光
アクアマリパーク
運営委員会



委員 小野 浩
歴史と文化づくり
委員会



委員 小松 証
会員拡大・交流
委員会

来年はいわきらしい夏を



会長 岩瀬 利哲
花火委員 岩瀬 利哲
実行委員 岩瀬 利哲

コロナウイルスの猛威は、あつという間に世界をパンデミックに陥れましました。我々が何気なく過ごしてきた自由な生活環境とは、豊かな社会でこそ尊重される価値だと改めて気づかされました。 この原稿を記述している時点は緊急事態宣言が解かれた瞬間でありますが、日本人の清潔観念、日頃のマस्क文化、医療関係者の尽力等など、更に一部の業界の犠牲を伴った自粛要請に忠実に応えてきた協力の成果であり、まずは第一の関門を突破できました。今後の第二波、第三波にも打ち勝ち、通常の生活環境が保たれていくことを願うばかりです。 さて、いわき花火大会実行委員会として4月に本年の海遊祭、いわき踊り、花火大会の開催を断念する決定をしました。各委員会に所属している方々の意見も参考に決定したのですが、何とも言えぬ遣り切れない思いがありました。 この間の各委員会の献身的



『音楽の日』放送時、小名浜港にて打ち上げた花火写真提供…蛭田 眞志

アクアマリンふくしま 開館20周年



ふくしま海洋科学館・アクアマリンふくしまは今年、令和2年7月15日に開館20周年を迎えました。

開館20年とは申しませんが、地元小名浜との連携はそれ以前より始まっており、海洋文化・学習施設建設促進期成同盟会や小名浜を創る会等の熱心な働きかけが、アクアマリン設置の後押しとなったのは言うまでもありません。

水族館建設が本格的になると、開館に向けての生物収集が始まりました。本館も無いこの時期は、水産試験場の下の畜養施設で集めた生き物を飼育。事務方は、小名浜港1号埠頭と2号埠頭の間にあった倉庫群：隣の小さな公民館を事務所として、開館の準備を進めました。現在、この事務所跡地は「いわき：ら・ら・ミューウ」の駐車場の一部となり、倉庫群は「小名浜美食ホテル」へと生まれ変わっています。



▲20年前、建設中のアクアマリンふくしま

開館まで1年を切った1999年末は、当時騒がれた「2000年問題（西暦2000年になる際、パソコン等の内部カレンダーも持つ電子機器が、誤作動を起こすのではないかとという問題）」に対し、1999年12月31日から2000年1月1日に替わる深夜、飼育職員は畜養施設に詰めて経過を見守りました。

アクアマリンふくしまが開館した同じ年、小名浜まちづくり市民会議が設立されてからは、小名浜国際環境芸術祭、まちなかコンサートと、地域連携する企画、イベントも更に増えました。サンマの生態展示に始まり、いわき市の魚・メヒカリの世界初展示、インドネシア・シラカンスの撮影成功、世界最大級のタッチプール「蛇の目ビーチ」、子ども体験館「アクアマリンえつぐ」のオープン：開館からの順調な10年でしたが、2011年3月11日、東日本大震災が全てを変えました。地震と津波により多くの展示生物が死んでしまったの、後片付けをしている最中の4月11日に、今度は福島県浜通り地震です。2011年中の再開など無理ではないかと考えていた職員たちに喝を入れたのは、地域の皆さんの言葉でした。「アクアマリンを始め、何もうまくいってないよ！」：当館が地域のランドマークとなつていている事実と責任を、ひしひしと感じたものでした。

アクアマリンふくしまの大きな特徴とも言えるボランティア活動も、開館前から始まっています。ら・ら・ミューウ会議室を使つての研修や、薄磯海岸の清掃活動。活動開始時の決起集会では、まちづくり市民会議の初代副会長の水野汎幸様（故）に講演をいただきました。「お客様に対して、浜つ子は気が荒いから」とは言い訳にはならない」という水野様の言葉は、今も折に触れ思い出し、自戒としております。

皆様の叱咤激励のおかげで震災からわずか4か月後、開館記念日と同じ7月15日に、アクアマリンふくしまを再開することが出来ました。そして一昨年、2018年に開催された第10回世界水族館会議（IAC）では、小名浜魚市場をメイン会議場にして様々なセッションが行われるまでになりました。現在、小名浜はもうろくに世界全体が新型コロナウイルスによる厄災に直面していますが、これもまた、地域の皆様と共に乗り越えて行けると確信しています。最後に、これまでの20年間、アクアマリンふくしまをご支援下さった地域の皆様に感謝を申し上げた地域にもこれからも皆様と一緒に地に元氣を愛される施設を目指していきたいと思っております。

記：アクアマリンふくしま 大石 幹人

いわき市との懇談会

7月7日（火）、まちづくりステーション小名浜3階会議室において、昨年度作成された「港まち・おなほまのブランドデザイン」をもとに、いわき市との意見交換会が開催されました。ブランドデザインが改訂されるのは平成23年以來3回目です。ブランドデザイン委員会の岩瀬委員長を中心として、市民の方の意見を取り入れながら議論を重ね、本年3月に形になりました。今回の意見交換会はブランド



デザイン委員会の岩瀬委員長を中心として、市民の方の意見を取り入れながら議論を重ね、本年3月に形になりました。今回の意見交換会はブランド

デザイン各チームについて、いわき市の関係各課と市民会議がお互い思うところを自由に述べる形で進行了しました。小名浜の未来を考える大事な事案のため、様々な意見が飛び交い、予定した時間を大幅に超え、活発な意見の交換が行われました。

今後とも継続的に意見交換をすることを合意し、会は終了しました。

参加者 小沼会長、松本副会長、川田副会長、上野台副会長、鈴木副会長、太田副会長、岩瀬ブランドデザイン委員長、小野市長（顧問）、安斉潮目委員長、岩田AMP運営委員長、事務局 山内市・創生推進課 薬谷統括主査、施設マネジメント課 坂本係長、地域包括ケア推進課 鈴木係長、工業・港湾課 正木係長、都市計画課 高木係長、田中係長、総合交通対策担当 折笠事業推進員、教育政策課 草野係長、小名浜支所 所在地地域振興担当員

AMP アクアマリンパーク 清掃

7月11日（土）、アクアマリンパークにおいて、小名浜まちづくり市民会議有志の一同により、ゴミ拾い運動が行われました。今回の新型コロナウイルスの自粛解除後よりアクアマリンパークには週末を問わず、買い物や散歩・ジョギングなど多くの人が訪れています。一方、一部の方の心無い行動により、



8月全体会議のお知らせ

8月24日（月）午後6時30分より、まちづくりステーション小名浜3階会議室において、8月全体会議を開催します。今回は「いわき花火大会の歴史」などについてご講話いただきます。会員の皆様は是非ご参加ください。新型コロナウイルス感染対策は充分に行ってまいります。詳しくは事務局まで。

小名浜まちづくり 市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんと一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは：いわき市小名浜字本町 11-1（まちづくりステーション小名浜）
TEL：52-1275 FAX：52-1415
http://www.onahama.jp/ E-mail：info@onahama.jp

随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、つぶやいてください。



©小名浜まちづくり市民会議 / 福島ガイナックス